

# スクールガードさんの安全通信

No. 24  
2023. 5. 16

発行責任者  
二見北小学校区  
スクールガード代表  
永田 聡

## 3年生の「まち探検」～地域の人から地域の話～ (実施：2023.4.28)



学校からの要請で私が3年生の校外学習「まち探検」で、地域の話をするようになったのは2010年の事でした。最初は手元のメモを基に、自治会、公民館、ため池の事などを40分ほど話しました。

翌年からは初年度の反省から、写真等を取入れたパワーポイントを自作して時間短縮しました。

児童には当初より繰り返し、ため池に入らない、交通ルールを守る、困った時には大声で人を呼ぶなど、「自分の身は自分で守る」行動を促す話をしてきました。

(2020年はコロナで中止)

2011年7月3日(日)自宅近くの野々池で、3年生2人2年生1人が水の事故で亡くなりました。当時自治会長で地域の責任者であったこと、子ども達に水の怖さを話した事でもあり、大きなショックと悲しみは未だに忘れられません。小学校では翌年から

この悲しい事故を教訓に、毎年7月初旬前後に「命の週間」を続けています。

事故の教訓を生かすとともに、ため池がもたらす豊かな自然環境から子どもたちを遠ざけることなく、上手く付き合うようにすることが大人の使命と考えます。



SG：伊藤一頼さん



プレゼン資料



大月先生

二見北小学校の3年生は校区探検に出かけました。今回は、大年神社や公民館(福里・岡の上)を巡りました。岡の上公民館では、SGをされている伊藤さんから自治会や公民館の役割、ため池の生き物についてお話を頂きました。中でも特に印象に残ったことはため池で起きた事故の事です。当時の様子を交えながら詳しく教えて頂いたのが子どもたちも真剣に聞き入っていました。学校に戻ってきての振り返りは「大切な命」について話し合いました。ただ、子どもたちに気付いて欲しいことは二見北のため池にはコウノトリが訪れるくらいの豊かな自然が育まれていること。安全を第一に伝えながら、新たな見方や考え方をもてるように取り組んでいきたいです。

今年も伊藤さんから地域の話をしていただきました。子どもたちにわかりやすくなるように毎年内容を見直しつつ、なんと今年で14回目とのこと、このように長く続けていただいていることにSGの仲間として誇りに思っています。

SG代表：永田 聡